

MS9740A 光スペクトラムアナライザ リリースノート

第 38 版

拝啓、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本リリースノートには、弊社製 MS9740A 光スペクトラムアナライザのソフトウェア バージョン v1.06.06 における新たに追加された機能の情報、既知の不具合の内容、使用上の注意点等の情報を記載しています。

目次

項目	内容
1. リリースしたソフトウェア ・・・P3	今回リリースしたソフトウェアのバージョンと取扱説明書の版数を表記します。
2. 対象機種 ・・・P3	ソフトウェアのアップグレードが可能な機種です。
3. アップデート時の注意 ・・・P3	ソフトウェアをアップグレードする場合の注意事項を表記します。
4. バージョン情報 ・・・P4	今回リリースしたソフトウェアの詳細なバージョンを表記します。
5. 新たに追加, 変更された内容 ・・・P5	今回のソフトウェアで追加される機能の紹介です。
6. 修正した不具合 ・・・P20	今回までのソフトウェアで修正される不具合を表記します。
7. 既知の不具合 ・・・P25	現在判明している不具合内容を表記します。これらの不具合は次回以降のソフトウェアで対応する予定です。

1. リリースしたソフトウェア

今回、リリースされたソフトウェアのバージョンは以下のとおりです。機能については「4. 新たに追加された機能」、「5. 修正した不具合」をご参照ください。

ダウンロードファイル名	ファイル名	バージョン
MS9740A ダウンロードファイル	MS9740A_vxxx_J.zip	v1.06.06
取扱説明書	型名	版
MS9740A 光スペクトラムアナライザ 取扱説明書	M-W3328AW	21
MS9740A 光スペクトラムアナライザ リモート制御 取扱説明書	M-W3329AW	13
MS9740A 光スペクトラムアナライザ リモート制御 取扱説明書(SCPI)	M-W3696AW	05

2. 対象機種

アップグレードの対象機種は下記のとおりです。

- ・ MS9740A

3. アップデート時の注意

本器のソフトウェアをアップデートする場合は、「MS9740A 光スペクトラムアナライザ ソフトウェア更新手順書」および「MS9740A 光スペクトラムアナライザ 取扱説明書」をよくお読みください。

4. バージョン情報

今回のアップグレードによる、ソフトウェアのバージョンを以下に示します。本体にインストールされているバージョンはシステム情報画面で確認できます。

(システム情報画面表示手順 : F6[Config] → f5[System Info] → f1[System Info View])

ソフトウェア	バージョン
MS9740A Package Version	1.06.06
Optical Spectrum Analyzer	1.06.06
Application Manager and Config	1.06.06
Optical Unit Firmware	1.28
Optical Unit FPGA	1.02
Optical Unit CPLD	1.1

5. 新たに追加, 変更された内容

V1.06.06 で追加,変更された内容

なし

V1.06.05 で追加,変更された内容

なし

V1.06.04 で追加,変更された内容

なし

V1.06.03 で追加,変更された内容

- WDM test Application に Search Threshold パラメータを追加
Search Threshold は 0.01～10.00 dB の範囲で入力します。初期値は 0.10dB です。
ピークサーチにおいて、最大レベルの極大点から、次以降にレベルが高い極大点を
検出するしきい値を設定します。
- 設定パラメータの入力範囲を一部変更
以下のパラメータの入力範囲を変更しました。

設定項目	V1.06.03	V1.06.02 以前
WDM test Signal Span	0.01～50.00 nm	0.01～1.00 nm
WDM Filter test Signal Span	0.01～50.00 nm	0.01～1.00 nm
LD Module test Signal Span	0.01～50.00 nm	0.01～1.00 nm

V1.06.01, V1.06.02 で追加,変更された内容

なし

V1.06.00 で追加された内容

本バージョンから MS9740A-007/107/207 用のソフトウェアがインストーラに追加されました。
007/107/207 オプションの搭載されていない機器用のソフトウェアには変更はありません。

V1.05.10 で追加,変更された内容

なし

V1.05.09 で追加,変更された内容

なし

V1.05.08 で追加,変更された内容

なし

V1.05.07 で追加,変更された内容

なし

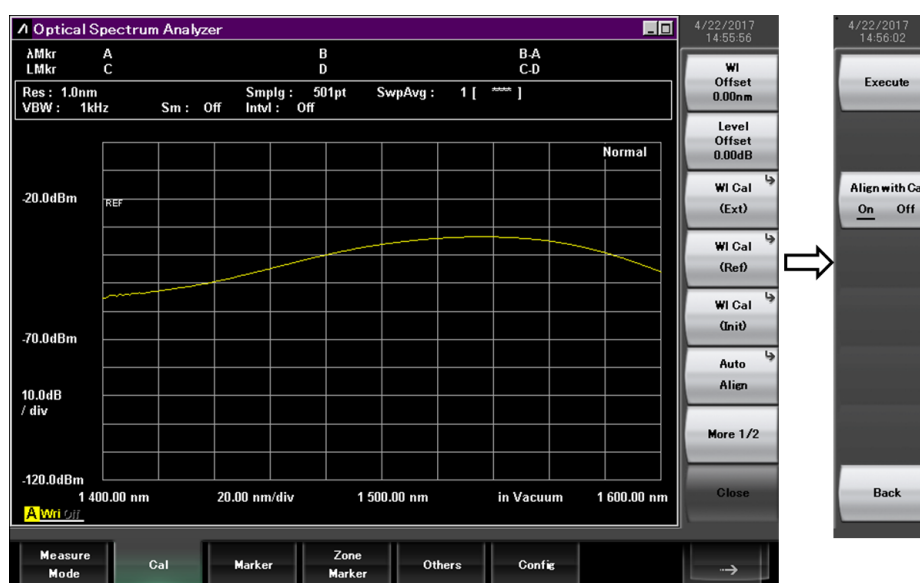
V1.05.06 で追加,変更された内容

- 光軸調整と波長校正を同時に実行する機能の On/Off を切り替えるリモートコマンドを追加しました。

詳細は、リモート制御取扱説明書を参照してください。

V1.05.05 で追加,変更された内容

- 光軸調整と波長校正を同時に実行する機能を追加
オプション 002 波長校正用光源を搭載している MS9740A では、オプションの光源を入力することで、光軸調整と波長校正を同時に実行できるようになりました。
WI Cal (ref) を押し、Align with Cal の表示を On に設定します。



V1.05.04 で追加,変更された内容

なし

V1.05.03 で追加,変更された内容

- 設定パラメータの初期値を一部変更

以下のパラメータの初期値を変更しました。

設定項目	V1.05.03	V1.05.02 以前
DFB-LD test Search Resolution	2.0dB	0.1dB
LD Module test Search Resolution	2.0dB	0.1dB

- 起動画面を変更

電源を投入後に表示される MS9740A の起動画面を差し替えました。



MS9740A
Optical Spectrum Analyzer

Copyright© Anritsu Corp. All Rights Reserved

V1.05.02 で追加,変更された内容

なし

V1.05.01 で追加,変更された内容

なし

V1.05.00 で追加,変更された内容

- SCPI リモートコマンドの追加
SCPI (Standard Commands for Programmable Instruments) 規格の文法に従ったコマンドを追加しました。
これにより、MS9740A でお使いいただけるリモートコマンドは、MS9740A 独自のリモートコマンドと SCPI コマンドの 2 種類になりました。
詳細は、リモート制御取扱説明書(SCPI)を参照してください。
- WDM Filter test Application の追加
多波長信号 (WDM 信号) を透過させる光フィルタの特性を、波長別に同時に解析するアプリケーションを追加しました。
各信号光の波長、レベル、帯域幅、信号光の間隔等を一括測定できます。
詳細は、取扱説明書の 5.9 章を参照してください。
- LD Module test Application に解析項目を追加
DFB 光源の評価に使用される解析項目 Center Offset と Stop Band を、LD モジュール評価アプリケーションに追加しました。
- 設定パラメータの初期値を一部変更
以下のパラメータの初期値を変更しました

設定項目	V1.05.00	V1.04.07 以前
Value in Air/Vacuum	Vacuum	Air
WDM test Display Mode	SNR	Multi Peak
WDM test Noise BW	0.1nm	1.0nm
LD Module test Noise BW	0.1nm	1.0nm

全設定パラメータの初期値は、取扱説明書付録 B を参照してください。

V1.04.07 で追加,変更された内容

なし

V1.04.06 で追加,変更された内容

- WDM, LD Module アプリケーションの測定結果表示

WDM/LD Module Test アプリケーションにおいて、以下の 3 つの設定を同時に実行した場合のノイズレベル測定位置を変更しました。

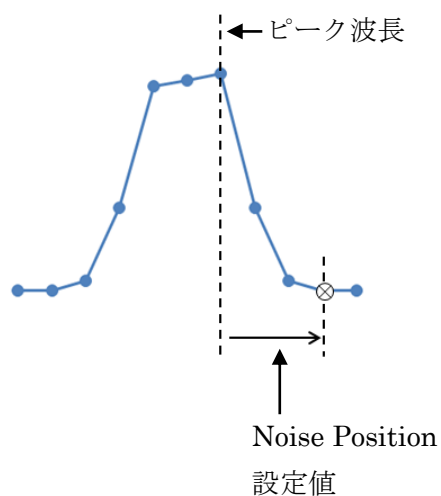
Signal Parameter -> Wavelength Detection Type -> Threshold

Noise Parameter -> Detection Type -> Point

Noise Position -> On

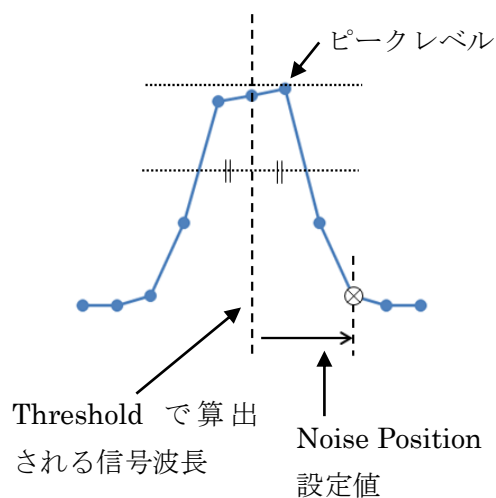
(変更前)

⊗ ノイズレベル測定位置



ノイズレベルの測定位置は、ピーク波長から Noise Position 設定値分だけシフトさせた位置

(変更後)



ノイズレベルの測定位置は、Threshold で算出される信号波長から Noise Position 設定値分だけシフトさせた位置

V1.04.05 で追加,変更された内容

なし

V1.04.04 で追加,変更された内容

なし

V1.04.03 で追加,変更された内容

なし

V1.04.02 で追加,変更された内容

なし

V1.04.01 で追加,変更された内容

なし

V1.04.00 で追加,変更された内容

- Opt Amp (Multi Channel) Application の追加
多チャンネル信号（WDM 信号）入力・同時解析に対応した EDFA 評価アプリケーションを追加しました。
- VBW の追加
VBW に 2kHz, 200Hz が追加されました。
- 全トレース CSV 出力機能の追加
全トレースのデータを一つの CSV ファイルに保存する機能を追加しました。
- Opt Amp Test Application の計算不能メッセージ表示
Opt Amp Test Application において、Fitting span/Mask span の設定が不正で計算不能な場合 "Invalid masked span" メッセージを表示するようにしました。
- 解析精度の向上
次の Analysis/Application において、解析の計算精度を向上しました。
Threshold, ndB-Loss, Envelope, RMS, Spectrum Power, DFB-LD, FP-LD, LED, WDM, LD Module, Opt Amp

V1.03.08 で追加,変更された内容

- 波長平坦性を向上
波長平坦性を向上しました。

V1.03.07 で追加,変更された内容

なし

V1.03.06 で追加,変更された内容

- ファイル保存画面におけるデフォルトファイル名の変更
Config 画面の Copy Settings において File Name Settings が User-Specified Name に設定されているとき、ファイル保存時のデフォルトファイル名が前回保存したファイル名になるように変更しました。

V1.03.05 で追加,変更された内容

なし

V1.03.04 で追加,変更された内容

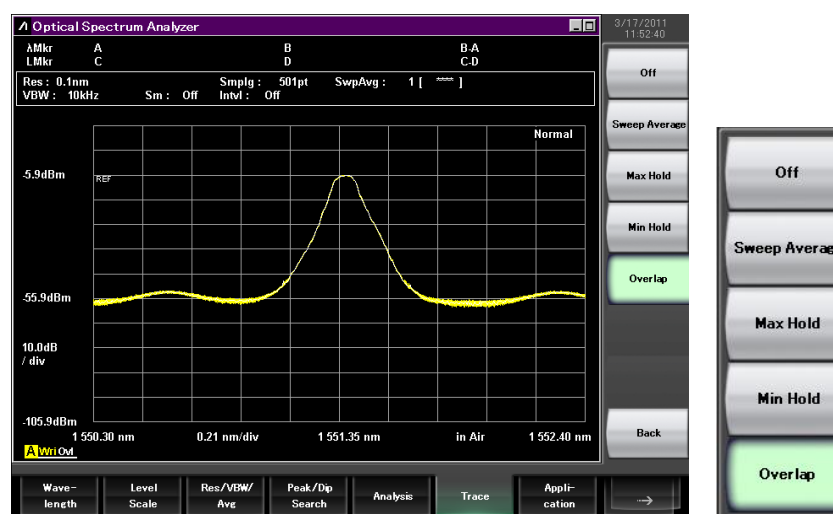
なし

V1.03.03 で追加,変更された内容

- Trace メニューに、Overlap 機能を追加

Trace 機能に Overlap 機能を追加しました。Overlap 機能は、取得した波形データを画面に上書きします（取得済みの波形データを消さない）。

光源などの出力を長時間測定すると、レベル・波長方向のドリフトをモニタできます。

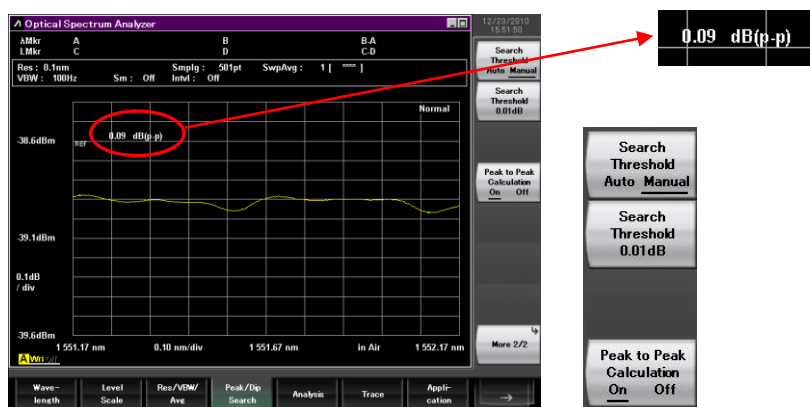


V1.03.02 で追加, 変更された内容

なし

V1.03.01 で追加, 変更された内容

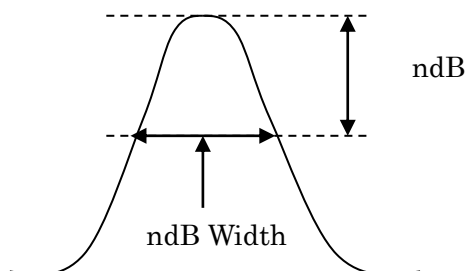
- Peak/Dip Search メニューに、Peak to Peak の計算機能を追加
Peak と Dip のレベル差を表示する機能を追加しました。しきい値設定により、最小で 0.01dB の Peak と Dip のレベル差を自動検出できます。微小なリップル特性をもつレーザの評価などに有効です。



- LD、WDM アプリケーションの OSNR 演算方法の見直しを実施
詳細は、取扱説明書の 5.6 章、5.7 章を参照してください。

V1.03.00 で追加, 変更された内容

- 測定シーケンスの見直しを実施
測定シーケンスの見直しを行ない、VBW および Res の設定を切替えた際に生じる測定開始までの処理待ち時間を短縮しました。
- オフセット処理方法の見直しを実施
VBW の設定を切替えた際に必ず実施していたオフセット処理の有無を選択できるようにしました。オフセット処理を実行しない場合、VBW 設定切替時に生じていた測定開始までの処理待ち時間が短縮できます。オフセットの設定については、取扱説明書「3.1.2 波長の校正」を参照してください。
- DFB-LD, LD アプリケーションに ndB Width 解析法を追加
スペクトラム幅の解析において、従来の RMS 解析による演算方法に加えて、ndB Width 解析法を追加しました。この機能は、DFB-LD および LD アプリケーション機能で有効です。

**V1.02.00 で追加, 変更された内容**

なし

V1.01.03 で追加, 変更された内容

➤ Threshold 解析方法の計算方法変更

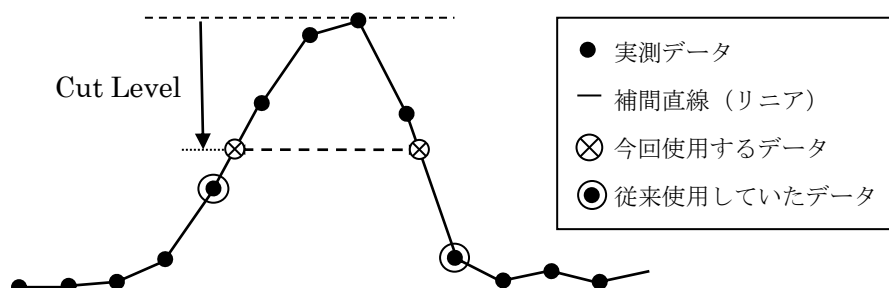
ピークから Cut Level 下がったレベルに実測データが無い場合, 前後の実測データを直線補間し, Cut Level と補間直線の交点からスペクトラム幅および中心波長を計算します。

従来のバージョンでは, Cut Level に近い実測データ点から, 中心波長およびスペクトラム幅を計算していました。本変更により、これまでよりも正確な解析結果が得られます。

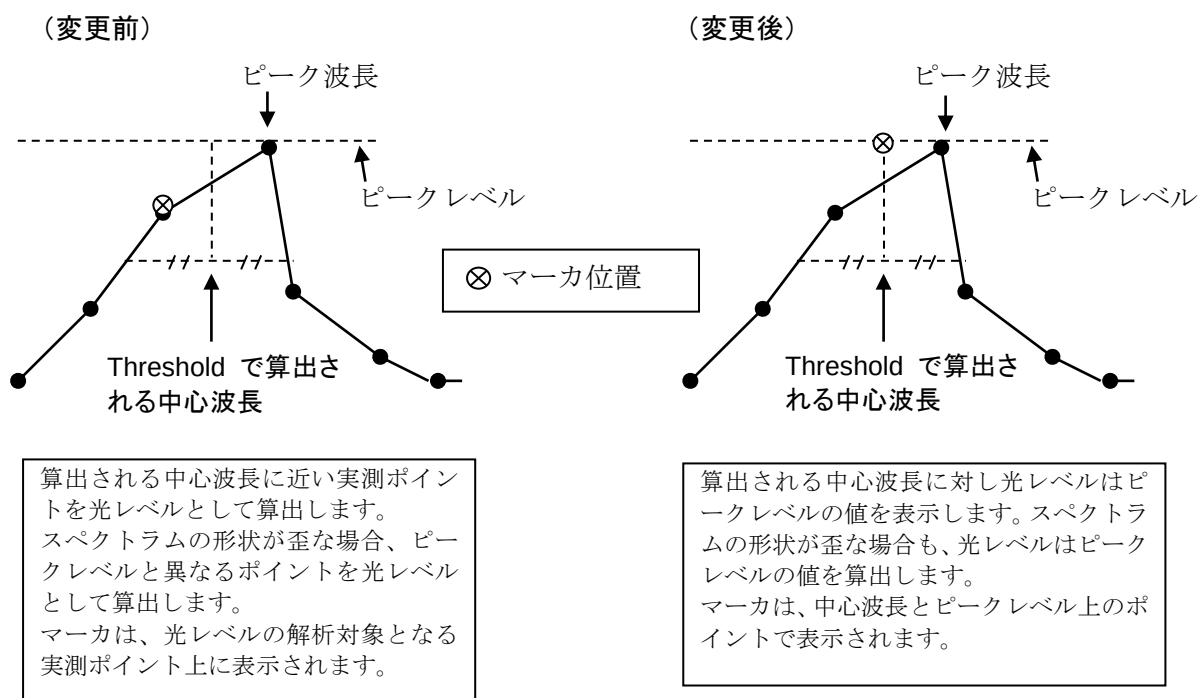
(計算変更項目)

Analysis メニュー: Threshold, n dB Loss, Envelope 解析時の中心波長および
スペクトラム幅解析方法

Application メニュー: WDM, LD Module アプリケーション上の、中心波長
およびスペクトラム幅解析方法



- WDM, LD Module アプリケーションの測定結果表示
WDM, LD Module アプリケーションにおける,
Signal Parameter -> Wavelength Detection Type -> Threshold 選択時の, 測定結果(レベル値)
およびグラフ上のマーカ表示位置を変更しました。

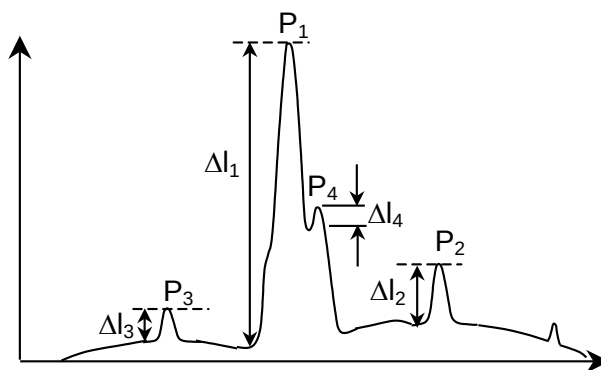


v1.01.02 で追加, 変更された内容
なし

v1.01.01 で追加, 変更された内容
なし

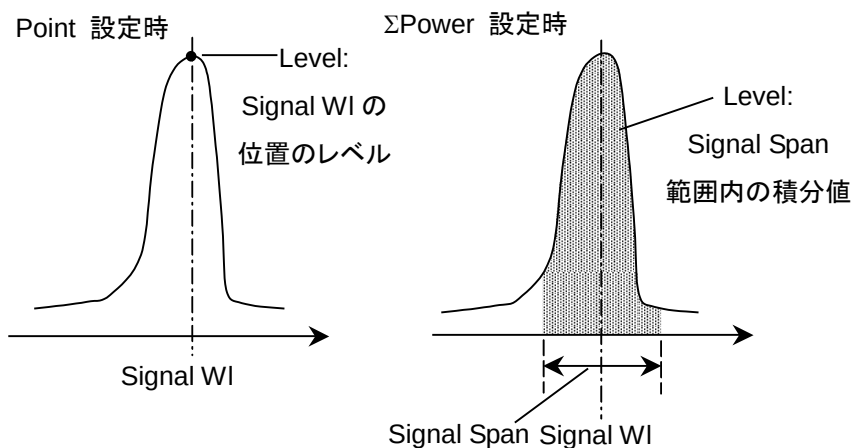
v1.01.00 で追加, 変更された内容

- DFB-LD, LD 測定機能, サイドモード判断レベル分解能(dB)設定を追加
サイドモードを判断するレベル分解能(dB)が設定可能となりました。
従来バージョンまでは, 下図例のように $\Delta 4$ dB のリップル P_4 が存在した場合は, このリップルがサイドモードと判断され, SMSR を正しく測定できませんでした。
今回追加されたレベル分解能を $\Delta 4$ dB より大きい値に設定すると, P_4 のリップルが検出されなくなり, 下図のようなケースにおいても SMSR を正しく測定できるようになりました。



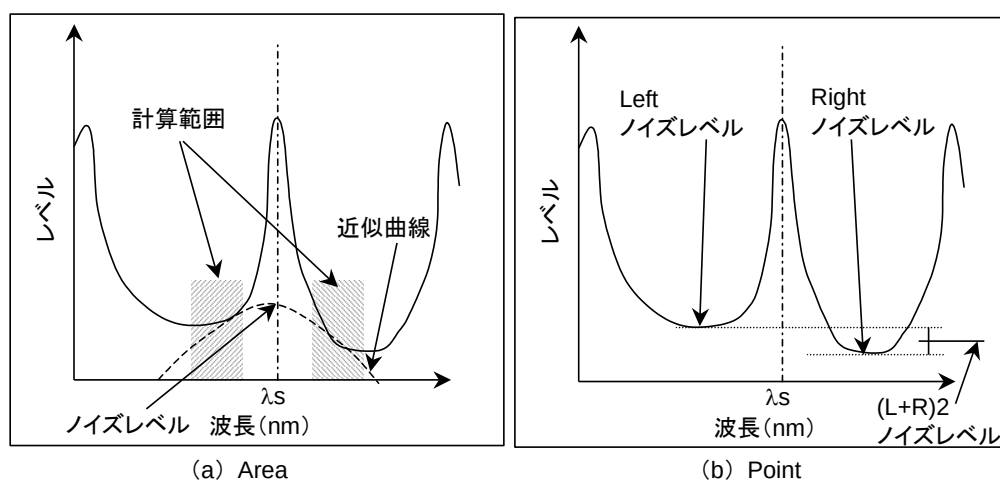
2nd Peak が正しく検出できない波形例

- WDM, LD 測定機能, 信号光レベルの算出方法に積分算出追加
信号光パワー算出方法に範囲指定での積分算出方法を追加しました。従来までの Point 設定に加えて Σ Power 設定を追加しました。



信号光レベルの測定方法

- WDM, LD 測定機能, SNR ノイズレベルの近似式による推定を追加
ノイズ波形に対する近似曲線から求めた, 信号光波長におけるノイズレベル算出する機能を追加しました。従来までの Point レベルでの SNR ノイズレベル算出に加えて Area 指定(近似式による推定)を追加しました。



ノイズレベルの検出方法

- WDM, LD 測定機能, ノイズ帯域幅あたりの SNR でのノイズ帯域幅設定を追加
従来まで 1nm 固定であった, ノイズ帯域幅設定を 0.1~1.0nm までの範囲で設定可能としました。

v1.00.02 で追加, 変更された内容

- リモートコマンドの MS9710C 互換性対応
以下リモートコマンドの仕様を MS9710C と互換性を保てるように変更・修正を行ないました。コマンド仕様詳細についてはリモート制御取扱説明書参照。
 - ◇ DCA?~DCJ?
 - ◇ AP WDM,SNR
 - ◇ AP
 - ◇ ANA
 - ◇ ITM
 - ◇ RES

6. 修正した不具合

ソフトウェアバージョン v1.06.06 までに修正した不具合情報の詳細を示します。以下の表を参照ください。

バージョン	アップグレード内容(管理番号)
V1.06.06	<ul style="list-style-type: none"> 保存した XML ファイルを本器で Recall したとき、ファイルに保存されている波長 Offset 値が反映されない不具合を修正 本不具合は、波長表示設定が” Vacuum” の場合に発生する (CM3019-0162)
V1.06.05	<ul style="list-style-type: none"> 特定の設定条件で掃引を繰り返すと、掃引速度が低下する不具合を修正 (CM3019:0163)
V1.06.04	<ul style="list-style-type: none"> 測定アプリケーションの実行、終了を繰り返すと、まれにメモリ不足になる不具合を修正 (CM3019:0145)
V1.06.03	<ul style="list-style-type: none"> ポイントアベレージ ON かつ分解能がサンプリング間隔よりも小さい設定の場合に、掃引が途中で止まることがある不具合を修正 (Bug 12229) Dynamic Range を High に設定した場合に、掃引が途中で止まることがある不具合を修正 (Bug 12231) リモートコマンドを連続実行すると、まれに測定器が停止する不具合を修正 (Bug 12234)
V1.06.02	<ul style="list-style-type: none"> MS9740A の製造検査に関する機能を改善しました。
V1.06.01	<ul style="list-style-type: none"> (Bug 12208)
V1.05.10	<ul style="list-style-type: none"> 測定アプリケーションの実行、終了を繰り返すと、まれにメモリ不足になる不具合を修正 (CM3019:0141)
V1.05.10	<ul style="list-style-type: none"> 起動すると、まれに Error_0008 が発生する不具合を修正 (CM3019:0142)
V1.05.09	<ul style="list-style-type: none"> MS9740A の製造効率を向上させました。性能には関係ありません。 (CM3019:0140)
V1.05.08	<ul style="list-style-type: none"> リピート測定中に波長変更すると Error_0008 が発生する不具合を修正 (CM3019:0139)
V1.05.07	<ul style="list-style-type: none"> 低温時に電源 ON すると Error_0008 が発生する不具合を修正 (CM3019:0138)
V1.05.06	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアの更新がまれに実行されない不具合を修正 (CM3019:0134)
V1.05.04	<ul style="list-style-type: none"> Opt Amp(Multi Channel) Test アプリケーションにおいて、まれにエラーが発生し測定が中断する不具合を修正 (CM3019:0124)
V1.05.02	<ul style="list-style-type: none"> VBW を 10Hz 設定で測定中、まれにグレーティング制御エラーが発生する不具合を修正 (CM3019:0119)
V1.05.01	<ul style="list-style-type: none"> Opt Amp(Multi Channel) Test アプリケーションにおいて、Repeat 掃引をし続けると、測定器が停止することがある不具合を修正 (CM3019:0111)
V1.05.00	<ul style="list-style-type: none"> Auto Measure のリモートコマンドを連続実行すると、*OPC?のレスポンスが返らなくなる不具合を修正 (CM3019:0074)
V1.04.07	<ul style="list-style-type: none"> サンプル点 5001 以上に設定し、スペクトラム波形出力リモートコマンドを連続実行すると、測定器が停止することがある不具合を修正。 (CM3019:0043)

バージョン	アップグレード内容(管理番号)
V1.04.06	<ul style="list-style-type: none"> Opt Amp(Multi Channel) Test アプリケーションにおいて、ノイズの近似曲線が解析できない設定時に、まれに描画される不具合を修正。 (CM3019:0028)
V1.04.05	<ul style="list-style-type: none"> Opt Amp(Multi Channel) Test アプリケーションにおいて、ノイズの近似曲線がまれに描画されない不具合を修正。 (CM3019:0025)
V1.04.05	<ul style="list-style-type: none"> Peak/Dip Search を実行中、画面のセンター波長をずらすと、まれに Peak 波長表示が異常な値になる不具合を修正。 (CM3019:0022)
V1.04.05	<ul style="list-style-type: none"> Opt Amp(Multi Channel) Test アプリケーションにおいて、まれにエラーが発生し測定が中断する不具合を修正。 (CM3019:0021)
V1.04.05	<ul style="list-style-type: none"> WDM/LD Module/Opt Amp/Opt Amp(Multi Channel) Test アプリケーションにおいて、"Invalid Masked Span"が正しく表示されない不具合を修正。 (CM3019: 0001)
V1.04.04	<ul style="list-style-type: none"> Power Monitor 機能を実行前の Res 設定値によって、Power Monitor 機能の測定レベルが変わる不具合を修正。 (CM3019: 0019)
V1.04.03	<ul style="list-style-type: none"> Power Monitor 機能を実行中、まれに測定レベルが大きく変動する、または、エラーが発生し測定が中断する不具合を修正。 (CM3019: 0015)
V1.04.02	<ul style="list-style-type: none"> Res を 0.03nm または 0.05nm に変更したとき、まれにレベル差の生じることがある不具合を修正。 (CM2540: 0154)
V1.04.01	<ul style="list-style-type: none"> 掃引中、まれにエラーが発生し測定が中断する不具合を修正。 (CM2540: 0170)
V1.04.00	<ul style="list-style-type: none"> PKS (または DPS) コマンドの引数に"LAST","LEFT","NEXT","RIGHT"を設定した場合、終了イベントステータスレジスタ (ESR2) のビット 0 が 1 にならない不具合を修正。 (CM2540: 0158)
V1.04.00	<ul style="list-style-type: none"> Config 画面表示時に、無効なコマンドを送信するとハングアップする不具合を修正。 (CM2540: 0141)
V1.04.00	<ul style="list-style-type: none"> WCAL コマンドの完了時に ESR2 の 0Bit 目が立つ不具合を修正。 (CM2540: 0137)
V1.04.00	<ul style="list-style-type: none"> WDM Test Application において、Σ Power の Signal Span の設定によって、まれに積分範囲の一番端のデータ 1 ポイントに演算誤差が生じる不具合を修正 (CM2540: 0095)
V1.04.00	<ul style="list-style-type: none"> WDM Test Application において、Σ Power の Signal Span の設定によって、まれに積分範囲の一番端のデータ 1 ポイントに演算誤差が生じる不具合を修正 (CM2540: 0095)
v1.03.07	<ul style="list-style-type: none"> CSV ファイルに保存された波形データのマイナス値が 10^{-15} に丸められる不具合を修正。本不具合は、v1.03.06 にのみ発生する。 (CM2540: 0073)
v1.03.06	<ul style="list-style-type: none"> CSV ファイルに保存された波形データに Level Offset が反映されない不具合を修正 (CM2540: 0066)
v1.03.06	<ul style="list-style-type: none"> *STB?クエリコマンド送信時、レスポンスの数値が上位 1 桁しか返らな

バージョン	アップグレード内容(管理番号)
	い不具合を修正 (CM2540: 0065)
v1.03.05	➢ CSV ファイルの下記項目において、数値と単位の間カンマが無い不 具合を修正 Resolution, VBW, Sampling Points, Smooth (CM2540:0063)
V1.03.04	➢ サンプル点数 10001 以上に設定し、連続測定すると測定器が止まるこ とがある不具合を修正 (CM2540:0060)
V1.03.03	➢ Auto Measure 実行後、波形データの無い Trace 画面で"Peak Ref Lvl" キーを押すと Level 軸の表示がおかしくなる不具合を修正 (CM2540:0058)
V1.03.03	➢ 特定の Span において、Zone Marker のロータリーノブの入力ができな くなる不具合を修正 (CM2540:0057)
V1.03.03	➢ OSNR 測定時の Σ Power 演算過程において、誤った演算処理をおこな っていた不具合を修正。本不具合は、v1.03.02 の WDM/LD Module Test メニューにおいて発生する。 (CM2540:0038)
V1.03.02	➢ Peak Search :Off で Peak point not Found が発生することがある不具合 を修正 (CM2540:0047)
V1.03.01	➢ Continuous 測定で CSV ファイル保存のデータ欠落 (CM2540:0018)
V1.03.01	➢ LD Module Test の OSNR 測定結果が Peak Level を元に演算していた不 具合を修正。 (CM2540:0037)
V1.03.00	➢ 特定の条件において、一部の波形データが正しく取得されない不具合を 修正。 (CM2540:0014)
V1.02.01	➢ Repeat 測定中、まれにリップルが発生する不具合を修正。 (CM2512:0018)
v1.02.00	➢ 掃引中に Span を連続変更すると Optical FIFO Error が発生することが ある不具合を修正。 (CM2114:2010Q4_0081)
v1.01.03	➢ グレーティングエラーが発生し、掃引が中断される不具合を修正。 (CM2512:0014)
v1.01.02	➢ WCal(Ref)の後、波長ずれが発生することがある不具合を修正。 (CM2114:2010Q4_0084)
v1.01.01	➢ リモートの連続運転においてエラーメッセージが表示されることがあ る不具合を修正。 (CM2114:999、CM2114:2010Q4_0078、CM2114:2010Q4_0080)
v1.01.01	➢ Single 掃引後にスイープアベレージ回数がリセットされない不具合を 修正。 (CM2114:2010Q4_0077)
v1.01.01	➢ 故障などによる光学部エラー (Error_008) が発生し、その後他のエラ ーが発生すると光学部エラー表示が消えてしまう不具合を修正。 (CM2114:2010Q4_0079)
v1.01.01	➢ External Trigger 測定において測定時間がかかってしまう不具合を修 正。 (CM2114:2010Q4_0082)

バージョン	アップグレード内容(管理番号)
v1.01.00	➤ 波長 Span 0nm 設定時の AutoMeasure 実行での失敗した際のエラーメッセージがおかしい不具合を修正。(CM2114:2010Q4_0070)
v1.01.00	➤ DFB-LD アプリケーションにおいてゾーンマーカ表示時の解析結果のエラー表示がおかしい不具合を修正。(CM2114:2010Q4_0069)
v1.01.00	➤ LD アプリケーションにおける SNR 解析結果のエラー表示がおかしい不具合を修正。(CM2114:2010Q4_0066)
v1.01.00	➤ Threshold 解析において、解析結果誤差に関する不具合を修正。(CM2114:2010Q4_0063)
v1.01.00	➤ LD アプリケーションにおける SMSR 解析エラー時の SNR 解析結果表示の不具合を修正。(CM2114:2010Q4_0043)
v1.01.00	➤ APR?リモートコマンドでの WDM の SNR 解析結果読み取りにおいて、測定エラーの場合は -1 が返ってきてしまう不具合を修正。(CM2114:2010Q4_0042)
v1.01.00	➤ ANA THR リモートコマンドを実行して、解析を実行しても ESR2 の解析終了ビットが立たない不具合を修正。(CM2114:993)
v1.01.00	➤ Error(0008)発生後にリモートコマンドを送り続けると正常に終了処理が出来なくなる不具合を修正。(CM2114:987)
v1.01.00	➤ サンプリングポイントが多い条件で AutoMeasure を実行すると、測定開始までに時間がかかってしまう不具合を修正。(CM2114:986)
v1.01.00	➤ WDM アプリケーションにおいて、ピークが 128 以上検出された状態で APR?での測定結果問い合わせができない不具合を修正。(CM2114:985)
v1.01.00	➤ Carc Error となる条件のトレースが存在する場合、エラーメッセージ内容がおかしくなってしまう不具合を修正。(CM2114:984)
v1.01.00	➤ LD アプリケーションにおいて、SMSR 解析結果がエラー状態となると SNR 解析結果もエラー表示となってしまう不具合を修正。(CM2114:983)
v1.01.00	➤ HiDynamic レンジ測定において、測定 Span を 1nm 以下とすると波形表示が極端におそくなってしまう不具合を修正。(CM2114:982)

バージョン	アップグレード内容(管理番号)
v1.00.05	<p>➤ ResCal リモートコマンドを連続実行すると波形データが短波長側にドリフトしてしまう不具合を修正。(CM2114:996)</p> <p>本不具合につきましては、バージョンアップによっても累積している波長ずれは解消されないため、下記手順にて波長校正を実施するようお願いいたします。</p> <p>＜外部光源を用いて波長校正を行う場合＞ 取扱説明書 § 3. 1. 1 に従い、自動光軸調整を実施します。 F2[Cal] → f5[Wl Cal(Init)] → f1[Execute]の順にボタンを押し、波長校正値を工場出荷時に戻します。 取扱説明書 § 3. 1. 2 に従い、外部光源を使用して校正を実行します。 ＜オプション 002 波長校正用光源を用いて波長校正を行う場合＞ 取扱説明書 § 3. 1. 1 に従い、自動光軸調整を実施します。 取扱説明書 § 3. 1. 2 に従い、オプションの波長校正用光源を使用して校正を実行します。</p>
v1.00.05	<p>➤ Spectrum パワー解析において、解析結果が正しく表示されない事がある不具合を修正。(CM2114:992)</p>
v1.00.04	<p>➤ Actual Resolution 結果が正しく表示されない不具合を修正。(CM2114:994)</p>
v1.00.03	<p>➤ Spectrum パワー解析において、解析結果が正しく表示されない事がある不具合を修正。(CM2114:981)</p>
v1.00.02	<p>➤ SLD オプションなしの場合、(Error_0007)もしくは(Error_0014)が発生してしまう場合がある不具合を修正。(CM2114:980)</p>
v1.00.02	<p>➤ *RST リモートコマンド実行後に ERR?リモートコマンド問い合わせのレスポンスメッセージが返らない不具合を修正。(CM2114:979)</p>
v1.00.02	<p>➤ DCA?~DCJ?、PRE リモートコマンドのエラー情報が正しく ERR?リモートコマンド問い合わせで取得できない不具合を修正。(CM2114:978)</p>
v1.00.02	<p>➤ DMA?~DMJ?リモートコマンドを連続実行するとアプリケーションがフリーズしてしまう不具合を修正。(CM2114:977)</p>
v1.00.02	<p>➤ アプリケーション機能実行中に、TraceType Calc に設定できてしまう不具合を修正。(CM2114:976)</p>
v1.00.02	<p>➤ Trace Calc ダイアログ表示中に機能切り替え実行をすると、次回以降の Trace Calc ダイアログの Set, Cancel が効かなくなる不具合を修正。(CM2114:975)</p>

バージョン	アップグレード内容(管理番号)
v1.00.02	➤ オーバーラップコマンドが実行中エラーとなった場合に ESR?によるエラー問い合わせ結果でエラー情報が取得できない不具合を修正。(CM2114:974)
v1.00.02	➤ F7(Config)、F6(Other)キーを交互に連続押下するとアプリケーションがフリーズしてしまう不具合を修正。(CM2114:965)
v1.00.01	➤ 電源 ON 立ち上がり時にグレーティングエラー(Error_0008)が発生してしまう不具合を修正。(CM2114:964)
v1.00.01	➤ VBW リモートコマンドで、単位なしの数値入力パラメータとし実行するとコマンドエラーとなってしまう不具合を修正。(CM2114:962)
v1.00.01	➤ 電源 ON 後に SYS CONFIG リモートコマンドを実行するとアプリケーションがフリーズしてしまう不具合を修正。(CM2114:961)

7. 既知の不具合

今回のバージョンで確認されている不具合を示します。

- なし